



ショー・ウィンドウブリーカー・ストリート 1 Designer's Window, Bleeker Street, 1947

東京・ニューヨーク姉妹都市提携30周年記念事業

ベレニス・アボットの世界

主催=東京都写真美術館/ニューヨーク公共図書館
観覧料=一般・大学生500(400)円/小・中・高校生250(200)円()内は10名以上の団体料金 開館時間=午前10:00~午後6:00 入館は5:30まで
休館日=12月12日水、1月9日水、および12月28日金から1月4日金 午150 東京都渋谷区恵比寿4-19-24 Tel.03-280-0031 JR恵比寿駅東口より徒歩5分
講演会=12月8日土、午後2:00~4:00 講師=J.V.ハーフデン(ニューヨーク公共図書館キュレーター) 会場=東京都迎賓館にて(美術館内申込制)

'90年12月6日木—'91年1月22日火 東京都写真美術館

Berenice Abbott, Photographer: A Modern Vision Organized by The New York Public Library. This exhibition, its international and United States national tour, is made possible by a general grant from Shearson Lehman Brothers, Inc. and Lehman Brothers, Inc.



TOKYO
METROPOLITAN
MUSEUM OF
PHOTOGRAPHY

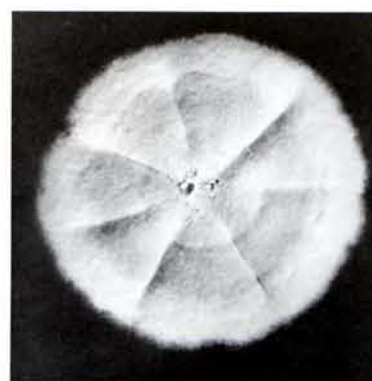


東京都写真美術館は東京・ニューヨーク姉妹都市提携30周年記念事業の一環として、特別展「ベレニス・アボットの世界 Berenice Abbott, Photographer: A Modern Vision」展を開催いたします。1989年10月にニューヨーク公共図書館で開催され好評を博したベレニス・アボット回顧展出品作品の中から、ニューヨーク公共図書館収蔵の119点に、当美術館の収蔵作品14点を加えて構成します。アメリカ写真界のバイオニア的存在である女流写真家ベレニス・アボットの回顧展としては最大規模のものです。

ベレニス・アボットは、1898年オハイオ州スプリングフィールドで生まれ、コロンビア大学でジャーナリズムを学んだ後、ニューヨーク、パリ、ベルリンで絵画や彫刻、写真を学びました。1929年にニューヨークへ戻り、出世作となる「変わりゆくニューヨーク Changing New York」を1939年に発表します。50年にわたる彼女の仕事は都市のドキュメントばかりでなく、そのテーマも方法論も想像以上に多岐に及んでいます。本展はポートレイト、ニューヨーク・シティ、サイエンス、アメリカン・シーンの4つに大きく分け、写真へのあくなき興味を追求したアボットの全貌に迫ります。

「ポートレイト」——マン・レイのアシスタント時代、1920年代から、アボットはパリに集うアヴァンギャルド・アーティストのポートレイトを撮り始めます。被写体を正面から見つめる正統的肖像写真の手法に則したアボットのポートレイトは、アーティストたちの人柄や個性を鮮明に浮き彫りにします。

「ニューヨーク・シティ」——1929年、住み慣れたニューヨークに戻ってきたアボットは、急速に変貌を遂げる都市を目の当たりにします。高層ビルや鉄橋が作り出す幾何学的な光景や、そこに住む人々の生活や表情を大型カメラで記録した作品は「変わりゆくニューヨーク」と題され、1939年に出版されます。これらの作品はパリ時代に心酔し彼女が世に送り出した不世出の写真家、ウジェーヌ・アジェの写真を思い



起こさせます。アボットのシティ・スケープは変わりゆくニューヨークの外観を通して、都市の鼓動とダイナミズムを焼き付けています。

「サイエンス」——アボットは写真機器を自ら改良し、長時間露光や多重露光、超接写で光や泡、物の動きなどを捉えた作品を試み、肉眼では見ることでできないミクロ・ワールドの美を描いています。1958年からマサチューセッツ工科大学の物理学研究委員会に写真家兼教育者として参加。この一群の写真はスミソニアンで発表され、1960年代初期にアメリカ各地を巡回し好評を博しました。

「アメリカン・シーン」——ニューヨークのシティ・スケープと並行して、アボットはアメリカの地方都市の撮影に取りかかります。アメリカの建築史家、ヘンリー・ラッセル・ピッチコックからの撮影依頼をきっかけに、建築物を通して彼女は素朴なアメリカの素顔を描いてゆきます。アメリカの生活が大きく展開した時代に撮られたこの写真は、歴史的に重要であるばかりでなく、徹底してリアリズムを追求したアボットの真価を発揮した作品でもあります。

講演会
日時——12月8日(土) 午後2:00~4:00
講師——J.V.ハーフデン
(ニューヨーク公共図書館キュレーター)
会場——東京都迎賓館にて(美術館内申込制)

1. フルーツ・マーケット | Fruit Market, 1954
2. ペニシリン菌 | Penicillin Mold, 1946
3. シティ・アラベスク | City Arabesque, 1938-69
4. エドワード・ホッパー | Edward Hopper, n.d.

